

【事務事業評価結果一覧の見方】

〇〇 ●●●●●●●●●●

以下の事務事業が体系付けられている施策番号及び施策名を記載しています。

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	R1 決算事業費 (千円)	令和元年度の取組実績	実績評価
1							
2							
3							
4							
5							

事務事業評価を実施した、個々の事務事業名を記載しています。

重点プロジェクト事業に該当する事業に、重点プロジェクト番号「①～⑤」を記載しています。

総合戦略に位置付けた事業に該当する事務事業に、「●」印を記載しています。

各事務事業を所管している課名を記載しています。

令和元年度の事業費決算額(千円単位)を記載しています。

令和元年度における取組内容や取組によって得られた成果について、記載しています。

令和元年度における取組に関する実績評価について、以下の区分で記載しています。

- ◎: 事務事業の目的に対して、十分な成果を得られた。
- : 事務事業の目的に対して、おおむね成果を得られた。
- △: 事務事業の目的に対して、予定した成果を得られなかった。

※各事務事業の概要については、巻末の参考資料「⑦事務事業概要一覧」をご参照ください。

進捗状況・今後の取組の方向性								今後の取組内容 (新型コロナウイルス感染症の影響に関連する内容は冒頭に◆印を記載しています)
R1 取組実績			方向性					
計画前倒し	計画どおり	計画遅れ	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善	改善余地なし	
<p>令和元年度における取組内容に関する実績評価や現在の取組状況を踏まえた今後の取組の方向性について、以下の区分で記載し、該当する項目に「●」印を記載しています。</p> <p>【R1取組実績】: 令和元年度の取組計画に対する、進捗状況を記載しています。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効性改善 : 事務事業の有効性(成果向上やサービス向上)について、改善していく必要があるもの。 ・効率性改善 : 事務事業の効率性(効率的な事業の実施)について、改善していく必要があるもの。 ・財政面改善 : 事務事業の財政面(財源確保, 経費縮減, 負担の平準化)について、改善していく必要があるもの。 ・参加と協働改善 : 事務事業における市民参加と協働の取組(機会・手法など)について、改善していく必要があるもの。 ・改善余地なし: 見直しの余地がなく、現状のまま事務事業を継続していくもの。 ※事業の進捗や対象の自然増減に伴い事業内容・事業費等が増減するものを含む。 								
<p>令和元年度における取組実績や振り返り評価結果等を踏まえた、今後の取組内容(課題や見直し, 改革・改善の取組内容などを含む)について記載しています。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。</p>								
<p>当該施策において令和元年度振り返り評価を行った事務事業における、「令和元年度の取組実績」、「今後の取組の方向性」の数の合計及びその割合を記載しています。</p>								
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	計
								割合(%)

当該施策に体系付けられている全ての事務事業については、巻末に掲載している参考資料「⑥事務事業一覧(施策体系順)」をご参照ください。